

# 新会長に宮原薫氏

## 出荷額は10%増174億円に



宮原新会長

北海道農業機械工業会（宮原薫会長）は5月24日、札幌市の札幌全日空ホテルで第65回通常総会並びに平成28年度表彰式を開催した。表彰式で挨拶に立った土谷令次副会長は「昨年8月、北海道に4つの台風が上陸しました。これを取り越し出来秋を迎えるためには、ますます農業機械が欠かすことができないものとなっていると確信しております」と述べた。

総会では、報告事項として、28年度農業機械出荷調査の結果を発表。総出荷台数は前年比18・9%増の3万7168台、総出荷金額は同10・6%増の173億8872万円（詳細次号以降）。

このほか、28年度事業報告、収支決算報告、29年度事業計画、収支予算などが承認された。29年



表彰式には多数の来賓も訪れた

度事業計画では、国内外の市場拡大を目指し、ミヤンマー・連邦共和国・シヤン州などで市場調査を行う。実施時期は29年11月頃を予定しており、JETROなどの市場調査事業に応募することで参加企業の自己負担を減らすこととしている。

また、役員改選も行われた。新役員陣は次の通り。敬称略。カッコ内は所属・職位。  
▽代表理事会長 宮原薫（IHイスター代表取締役社長）  
▽代表理事副会長 土谷令次（土谷製作所代表取締役会長）  
▽同 松田和之（訓子府機械工業代表取締役社長）

▽専務理事 玉木哲夫（学識経験者）  
▽理事 太田耕一（東洋農機代表取締役社長）  
▽同 安久者。

津昌義（日農機製工取締役会長）  
▽同 毛利剛（サンエイ工業代表取締役社長）  
▽同 福地博行（福地工業代表取締役社長）  
▽同 寺崎康治（アトム農機代表取締役会長）  
▽同 長田秀治（オサダ農機代表取締役社長）  
▽同 本田雅義（本田農機工業代表取締役社長）  
▽監事 山本哲夫（北海バネ専務取締役）  
▽同 工藤忠（北海道二プロ常務取締役）  
▽顧問 高井宗宏（学識経験者）。

その後場所を移し表彰式。第34回優良農業機械・施設等開発改良表彰の受賞者、会長賞にキセキ北海道の「オニオンピッカイVHAシリーズ（商品名：VHA730M（C）、同710D）」が受賞した。続いて従業員功労表彰。その後、岡出直人経済産業省北海道経済産業局地域経済部次長、野村聡北海道経済部産業振興局局長が来賓を代表して挨拶。受賞者謝辞として、優良農機表彰の受賞

者を代表しキセキ北海道の「藤田朋己氏、功労表彰の受賞者を代表して本田農機工業の新敷謙一氏が感謝の言葉を述べた。従業員功労表彰の受賞者は次の通り。  
▽大沼春光（IHイスター）  
▽高山真貴（同）  
▽中山祐治（同）  
▽三宅勇太（エフ・イー）  
▽吉蘭春樹（東洋農機）  
▽清水将志（同）  
▽矢野勇太（同）  
▽中村冷治（北海道二プロ）  
▽新敷謙一（本田農機工業）。

敬称略

上段：農村ニュース（平成29年5月29日）  
中段：農機新聞（平成29年5月30日）  
下段：農経しんぼう（平成29年5月29日）

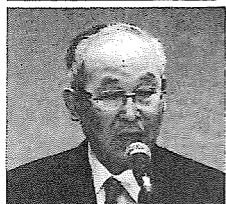
# 宮原氏が会長就任

## 第65回通常総会を開催

(一社)北海道農業機械工業会は、第65回通常総会並びに表彰式、受賞祝賀会を開催した。

総会では平成28年度の総出荷額として118.9%となったことが報告された。

また役員改選を行い、宮原薫氏(株)IHイスタが会長に就任。理事に本田雅義氏(本田農機工業(株))、監事に工藤忠氏(北海道ニプロ(株))が各々就任し、事務局長の



土谷副会長

て、173億9千万円(元北見農試竹中秀行氏)の他は再任となった。正会員の出荷台数は1110.6(場長)の他は再任となった。

会員数は正会員30社、賛助会員30社となった。とや農業機械のPセラベルの普及推進として116件3万1千枚を有償提供した旨も報告された。今年度事業計画として、国内外への市場拡大に向けた取り組みとして

てJETROの事業などを使ってミャンマーのシヤン州で市場調査を応募し参画企業を募集したいとした。

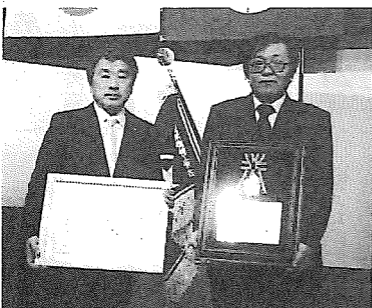
表彰として(株)キセキ北海道のオニオンピッカーV HA730M(C)とV HA710Dが北海道知事賞と会長賞を受賞し、また従業員功労者と

高山真口(株)、新敷謙一氏(本田農機工業(株))が表彰された。

次に行われた受賞祝賀会では土谷令次副会長の挨拶にはじまり、来賓紹介の後、安久津昌義理事(日農機(株)会長)の首頭で乾杯が行われた。その後、積極的な交流が行われる中で新任者と退任予定者の挨拶も合間に行われた。



安久津理事の音頭で乾杯が行われた



受賞を受けた安久津理事と部長と技術課長

優良農業機械の知事賞を受賞したキセキ北海道の事業部長と部長と技術課長

最後は本田正一前理事(本田農機工業(株)会長)による一本締めで会は終了した。

が会  
工総  
農常  
北通

# ミヤンマー調査へ

## 知事賞にキセキ北海道



宮原会長



土谷副会長  
さつする  
あいさつ  
谷副会長

北農工は24日午後、札幌市の全日空ホテルで、第65回通常総会を開催し、29年度事業計画など10議案を審議、いずれも事務局原案通り可決承認した。この中で、任期満了に伴う役員改選では11人の理事と2人の監事、顧問を選出。代表理事会長には宮原薫氏（IHIスター社長）、同副会長には土谷令次（土谷製作子府機械工業社長）の両氏が就任した。また、事務局長として前・道総研農業研究本部北見農試験

長の中秀行氏を囑託で新たに採用することを決めた。  
総会後に行われた表彰式では、優良農業機械・施設等開発改良表彰として、オニオンピッカーV H Aシリーズの開発と販売に当たっているキセキ北海道が知事賞と同会長賞を受賞。同社の高浪豊幸執行役員アグリ事業部長と時田朋己技術課長がそれぞれ賞状と楯を受け取った。  
従業員功勞表彰では、大沼春光、高山真貴、中山祐治（IHIスター）、

三宅勇太（エフ・イー）、頭にあいさつした土谷令次副会長は、昨年の台風被害の影響の中でも会員協力のもと総会にこぎつけた旨あいさつし出席者に謝意を表した。  
同氏を議長に議事を進



オニオンピッカーで知事賞を受けたキセキ北海道の高浪執行役員（左）と時田課長

め、28年度事業報告・決算、29年度事業計画・予算、29年度会費徴収方法など、いずれの議案も事務局原案通り可決した。  
この中で、新年度事業では、会員企業の国内外への市場拡大を支援するためのプロジェクトを企画・実施するとし、シエトロなどの事業に応募する形で、ミヤンマーの農機需要把握あるいは現地の有力パートナーを探索する目的で11月に現地へ赴く計画だ。  
このほか、農機カタログ集の発行、技術研修、農業安全運動、関係機関との交流・連携などの事業は従来通り積極的に展開していく。  
会長、副会長以外の役員構成は次の通り。（敬称略）  
▽専務理事＝玉木哲夫

▽理事＝太田耕二（東洋農機）、安久津昌義（日農機製工）、毛利剛（サンエイ工業）、福地博行（福地工業）、寺崎康治（アトム農機）、長田秀治（オサダ農機）、本田雅義（本田農機工業）  
▽監事＝山本哲夫（北海道）、工藤忠（北海道）、アロ  
▽顧問＝高井宗宏（学識経験者）





野村・北海道経済部産業振興局長から知事賞を受賞する高浪・(株)キセキ北海道アグリ事業部部長。



土谷・北海道農業機械工業会副会長から会長賞を受賞する蒔田・(株)キセキ北海道アグリ事業部技術課長。



土谷・北海道農業機械工業会副会長から従業員功労表彰を 5社から推薦があった9名の従業員に授与。



土谷・北海道農業機械工業会副会長の挨拶で受賞祝賀会が開式。



安久津・日農機製工(株)取締役会長の乾杯の発声で受賞祝賀会の祝宴がスタート。会場のあちらこちらで和やかに歓談。



本田・本田農機工業(株)代表取締役会長が一本締めで受賞祝賀会は盛会の内に閉会。